

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成26年2月7日

**【四半期会計期間】** 第26期第3四半期(自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日)

**【会社名】** 株式会社ベクター

**【英訳名】** Vector Inc.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 梶 並 伸 博

**【本店の所在の場所】** 東京都新宿区西新宿八丁目14番24号

**【電話番号】** (03)-5337-6711(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長 梶 並 京 子

**【最寄りの連絡場所】** 東京都新宿区西新宿八丁目14番24号

**【電話番号】** (03)-5337-6711(代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役管理部長 梶 並 京 子

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第25期 第3四半期累計期間	第26期 第3四半期累計期間	第25期
会計期間		自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
営業収益	(千円)	1,912,610	1,667,086	2,480,471
経常損失( )	(千円)	238,510	183,084	228,068
四半期(当期)純損失( )	(千円)	434,839	178,196	423,390
持分法を適用した場合の 投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	1,006,246	1,006,726	1,006,246
発行済株式総数	(株)	13,927,400	13,929,800	13,927,400
純資産額	(千円)	2,057,601	1,900,080	2,070,775
総資産額	(千円)	2,595,664	2,280,075	2,459,258
1株当たり四半期(当期)純損失金額 ( )	(円)	31.51	12.91	30.68
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額	(円)			
1株当たり配当額	(円)			
自己資本比率	(%)	79.2	83.2	84.1

回次		第25期 第3四半期会計期間	第26期 第3四半期会計期間
会計期間		自 平成24年10月1日 至 平成24年12月31日	自 平成25年10月1日 至 平成25年12月31日
1株当たり四半期純損失金額( )	(円)	12.42	4.74

- (注) 1 営業収益には、消費税等は含まれておりません。  
2 当社には関連会社がありませんので、持分法を適用した場合の投資利益については記載しておりません。  
3 第25期、第25期第3四半期累計期間及び第26期第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。  
4 当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式総数、1株当たり四半期(当期)純損失金額を算定しております。

## 2 【事業の内容】

当第3四半期累計期間において、当社において営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第3四半期累計期間における、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生、又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第3四半期会計期間（平成25年10月1日～平成25年12月31日）において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 経営成績の分析

平成26年3月期第3四半期累計期間(平成25年4月1日～平成25年12月31日)におけるわが国経済は、円安に伴う輸出採算の改善や政府による経済政策・金融政策等の効果により企業収益の改善が進み、デフレ脱却、景気回復の足どりは確かなものになりつつあります。

当社の事業領域であるパソコン向けオンラインゲーム業界の成長率は鈍化しているものの、スマートフォン・タブレット等を含めたゲーム市場は拡大基調が続いております。また、スマートフォンの普及率は増加し続けており、携帯電話（フィーチャーフォン）からスマートフォンへの移行が着実に進んでおります。

ソフトウェア販売を取り巻く環境としましては、法人向け国内パソコン出荷台数がWindowsXP搭載機の入替え需要により好調ではありますが、個人向け国内パソコン出荷台数は減少が続いております。一方、タブレットの販売台数は急激に伸びており、タブレットの販売台数がノートパソコンの半分程度の規模まで成長しております。

このような環境のもと、当社の営業収益に大きな割合を占めるオンラインゲーム事業が、当初の見込みより下回ったこと等により、当第3四半期累計期間の営業収益は16億67百万円と前年同期比12.8%の減収となりました。一方、利益の状況につきましては、人件費、減価償却費のほか地代家賃等の固定費の削減効果で改善の方向にあり、営業損失1億91百万円(前年同期は2億42百万円の営業損失)、経常損失1億83百万円(前年同期は2億38百万円の経常損失)、四半期純損失1億78百万円(前年同期は4億34百万円の四半期純損失)となりました。

(単位：千円、%)

	平成26年3月期第3四半期累計期間		
	金額	前年同期比	構成比
オンラインゲーム事業	1,211,726	15.6	72.7
ソフトウェア販売事業	368,728	3.3	22.1
サイト広告販売事業	86,631	8.8	5.2
その他		100.0	0.0
合計	1,667,086	12.8	100.0

## オンラインゲーム事業

当第3四半期累計期間におけるオンラインゲーム事業の販売金額は、12億11百万円（前年同期比15.6%減）となりました。

当該事業は、従来型オンラインゲーム（クライアントソフトをパソコンにダウンロードするもの）、ブラウザゲーム（パソコンのブラウザ上で起動するダウンロード不要のオンラインゲーム）、スマートフォンゲームの3つの分野から構成されています。

従来型オンラインゲームは、当第3四半期累計期間末時点で8タイトルの運営となっております。増減の内訳といたしましては、平成25年4月に「ぎごしょくマスター」、7月に「BOUNDRA」の正式サービスを開始した一方で、6月に「Knights of Kingdom」、9月に「Wonderland ONLINE」「ソードオブリベリオン」のサービスを終了いたしました。

ブラウザゲームは、平成25年4月に「戦国セブン」、9月に「Web三国ヒーローズ」のサービスを終了し、新たに11月から「アステルゲート」の正式サービスを開始いたしました。これらの結果、当第3四半期累計期間末時点における運営タイトル数は7タイトルとなっております。

スマートフォンゲームは、平成25年6月よりiOSゲームアプリ（iPhone、iPadで遊べるゲーム）「アルカナ・マギア」の配信を開始いたしました。同タイトルは、12月よりAndroid版の配信を開始しております。

なお、当第3四半期累計期間のオンラインゲーム事業のセグメント損益は、1億66百万円の損失（前年同期は1億85百万円の損失）となりました。

## ソフトウェア販売事業

当第3四半期累計期間におけるソフトウェア販売事業の販売金額は、3億68百万円（前年同期比3.3%減）となりました。ソフトウェアのダウンロード販売事業は、ウイルス対策ソフトについては根強い需要がありますが、個人消費者向けのパソコン市場の縮小や有料パソコンソフトに対する需要の状況が減少傾向にあることには変わりはありません。

なお、当第3四半期累計期間のソフトウェア販売事業のセグメント損益は、20百万円の損失（前年同期は38百万円の損失）となりました。

## サイト広告販売事業

当第3四半期累計期間におけるサイト広告販売事業の販売金額は、86百万円（前年同期比8.8%減）となりました。リスティング広告（検索エンジンの検索結果ページに表示する広告）については当該事業の約8割強を占め、サイト広告販売事業の基幹となっております。

なお、当第3四半期累計期間のサイト広告販売事業のセグメント利益は、55百万円と前年同期比1.6%増となりました。

## その他

当第3四半期累計期間における当該販売金額はありませんでした（前年同期は1百万円）。

(2)財政状態の分析

当第3四半期累計期間末(平成25年12月31日)における資産合計は、22億80百万円となり、前事業年度末に比べ1億79百万円減少しました。

(資産)

流動資産については20億7百万円と前事業年度末に比べ79百万円減少しました。うち、現金及び預金が前事業年度末に比べ70百万円が減少しました。また、ソフトウェアを含む固定資産については2億73百万円と前事業年度末に比べ99百万円減少しました。

(負債)

負債については流動負債が3億54百万円と前事業年度末に比べ9百万円減少したことなどで、負債合計は3億79百万円と前事業年度末に比べ8百万円減少しました。

(純資産)

純資産については19億円と前事業年度末に比べ1億70百万円減少しました。うち、株主資本は18億87百万円と前事業年度末に比べ1億77百万円減少しました。

なお、負債合計の負債純資産合計に占める割合が前事業年度末の15.8%から16.7%に若干上昇し、自己資本比率は、前事業年度末の84.1%から83.2%に若干低下しました。

(3)キャッシュ・フローの状況の分析

該当事項はありません。

(4)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5)研究開発活動

該当事項はありません。

(6)従業員数

当第3四半期累計期間において、従業員数は前事業年度末と比べて大きな変動はありません。

(7)主要な設備

当第3四半期累計期間において、主要な設備について変動はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	54,800,000
計	54,800,000

###### 【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	13,929,800	13,929,800	東京証券取引所 JASDAQ(スタンダード)	単元株式数は100株 であります。
計	13,929,800	13,929,800		

(注) 提出日現在の発行数には、平成26年2月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は、含まれておりません。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額(千円)	資本準備金 残高(千円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	2,400	13,929,800	479	1,006,726	479	345,724

(注) 新株予約権の行使による増加であります。

##### (6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 127,200		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,799,600	137,996	
単元未満株式	普通株式 600		
発行済株式総数	13,927,400		
総株主の議決権		137,996	

(注) 当第3四半期会計期間末日現在の「発行済株式」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年9月30日)の株主名簿に基づいて記載をしております。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ベクター	東京都新宿区西新宿 8 14 24	127,200		127,200	0.91
計		127,200		127,200	0.91

2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

### 3．四半期連結財務諸表について

当社は、子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1【四半期財務諸表】  
(1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,243,527	1,172,653
売掛金	292,966	327,385
有価証券	430,339	430,352
その他	120,084	76,622
流動資産合計	2,086,916	2,007,014
固定資産		
有形固定資産	48,056	30,390
無形固定資産		
ソフトウェア	232,686	150,970
その他	13,949	26,430
無形固定資産合計	246,636	177,400
投資その他の資産	77,649	65,271
固定資産合計	372,342	273,061
資産合計	2,459,258	2,280,075
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	130,636	142,910
未払法人税等	3,417	3,525
賞与引当金	28,526	16,965
その他	201,704	191,177
流動負債合計	364,284	354,578
固定負債		
退職給付引当金	22,006	25,417
その他	2,192	-
固定負債合計	24,198	25,417
負債合計	388,483	379,995
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,006,246	1,006,726
資本剰余金	1,395,244	1,395,724
利益剰余金	242,175	420,371
自己株式	94,952	94,952
株主資本合計	2,064,364	1,887,126
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,959	10,540
評価・換算差額等合計	3,959	10,540
新株予約権	2,451	2,413
純資産合計	2,070,775	1,900,080
負債純資産合計	2,459,258	2,280,075

(2)【四半期損益計算書】  
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
営業収益	1,912,610	1,667,086
営業費用	2,155,100	1,858,226
営業損失( )	242,490	191,139
営業外収益		
受取利息	3,155	3,800
受取配当金	66	76
為替差益	103	1,995
還付加算金	473	332
消費税等差額	28	1,153
その他	756	696
営業外収益合計	4,584	8,055
営業外費用		
株式交付費	605	-
営業外費用合計	605	-
経常損失( )	238,510	183,084
特別利益		
新株予約権戻入益	194	-
投資有価証券売却益	-	23,280
特別利益合計	194	23,280
特別損失		
固定資産売却損	19,617	-
固定資産除却損	10,132	744
減損損失	51,400	12,574
投資有価証券評価損	55,230	-
解約精算金	15,760	-
前渡金償却額	22,000	-
その他	4,171	-
特別損失合計	178,313	13,318
税引前四半期純損失( )	416,630	173,122
法人税、住民税及び事業税	1,717	1,717
法人税等調整額	16,492	3,356
法人税等合計	18,209	5,073
四半期純損失( )	434,839	178,196

【注記事項】

(四半期貸借対照表関係)

該当事項はありません。

(四半期損益計算書関係)

該当事項はありません。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	254,878 千円	189,190 千円
のれんの償却額	1,562 "	

(株主資本等関係)

前第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動はありません。

当第3四半期累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の  
末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

株主資本の金額は、前事業年度末日と比較して著しい変動はありません。

(金融商品関係)

該当事項はありません。

(有価証券関係)

該当事項はありません。

(デリバティブ取引関係)

当社はデリバティブ取引を行っていないため、該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社には関連会社が存在しませんので該当事項はありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他(注)	合計
	オンライン ゲーム事業	ソフトウェア 販売事業	サイト広告 販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,434,998	381,506	95,035	1,911,540	1,070	1,912,610
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
計	1,434,998	381,506	95,035	1,911,540	1,070	1,912,610
セグメント利益又は セグメント損失( )	185,510	38,307	54,839	168,979	25	169,005

(注) その他の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、他社サーバ運用管理受託業務などを含んでおります。

2. 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	168,979
「その他」の区分の損失( )	25
全社費用(注)	73,484
四半期損益計算書の営業損失( )	242,490

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて当社が保有する著作権並びに一部タイトルの終了決定に伴うソフトウェアの減損処理を行いました。

なお、当該減損損失の計上額は、51,400千円であります。

当第3四半期累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他	合計
	オンラインゲーム事業	ソフトウェア販売事業	サイト広告販売事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,211,726	368,728	86,631	1,667,086		1,667,086
セグメント間の内部売上高又は振替高						
計	1,211,726	368,728	86,631	1,667,086		1,667,086
セグメント利益又はセグメント損失( )	166,670	20,791	55,727	131,734		131,734

2. 報告セグメントごとの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	131,734
「その他」の区分の利益	
全社費用(注)	59,405
四半期損益計算書の営業損失( )	191,139

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない新規事業に係る開発関連費及び管理部門に係る費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「オンラインゲーム事業」セグメントにおいて一部タイトルの終了決定に伴うソフトウェアの減損処理を行いました。

なお、当該減損損失の計上額は、12,574千円であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
1株当たり四半期純損失金額( )	31円51銭	12円91銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額( ) (千円)	434,839	178,196
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純損失金額( ) (千円)	434,839	178,196
普通株式の期中平均株式数(株)	13,800,200	13,800,209
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 1 当社は、平成24年10月1日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純損失金額を算定しております。

2 前第3四半期累計期間及び当第3四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。



## 2 【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月7日

株式会社ベクター  
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 阪 中 修 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 前 田 隆 夫 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ベクターの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの第26期事業年度の第3四半期会計期間(平成25年10月1日から平成25年12月31日まで)及び第3四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ベクターの平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。